

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1165		
科目名	教養特殊講義 5		
担当教員	古谷 洋一		
対象学年	1年	開講学期	前期
曜日・時限	月 2		
講義室	1207	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP7-C[他者理解・倫理観・公共心] 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 DP1-D[市民的素養・市民的教養] 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C 1 倫理的思考・社会認識：20% D 1 市民的要素と参加：50% I 1 理解・分析と読解10% I 2 量的分析10% I 3 情報分析10%		
教員の実務経験	1986年に警察庁に入庁し、以後35年余にわたり警察庁での治安政策立案と都道府県警察での治安対策実施に従事した経験を踏まえ、制度と現実の両面から市民生活の安全を巡る問題を具体的に説明します。（第2～13回）		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 2 進期～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	犯罪は、市民生活のあらゆる隙を見つけて忍び寄ってきます。学生にも無縁ではない幾つかの犯罪類型を取り上げ、その実態とリスクの具体的内容を概観するとともに、リスク回避・低減のための個人・コミュニティ（地域社会）・警察（行政）の対処行動の在り方ないし役割について、法制度との関連を含めて考察します。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード：犯罪・リスク回避・市民生活の安全		
授業の趣旨	■副題 市民社会を取り巻く犯罪状況を正しく認識し、リスク回避・低減の手法を理解する。 ■授業の目的 比較的身近な犯罪を素材に、それへの対処の在り方を理解することで、危機管理の必須要素であるリーガルマインドとリスクリテラシーの基礎を養うことを目的とします。 ■授業のポイント 犯罪リスクの内容を類型ごとに具体化し、実例を取り上げながら学修します。		

総合到達目標	■一般目標（GIO） 市民生活における犯罪リスクとそれへの適切な対処について、自ら考えることができるようになる。 ■個別行動目標（SBOs） ・市民生活に影響を及ぼす犯罪の状況について具体的に説明できるようになる。（第1～13回） ・犯罪リスクの内容について具体的に説明できるようになる。（第2～13回） ・犯罪への対処における個人・コミュニティ・警察（行政）の役割について説明できるようになる。（第2～14回）	
成績評価方法	■リアクション・ペーパー14回（30%）：適用ルーブリック C1・D1・I1・I2・I3 （評価の観点）講義内容を踏まえて自分の考えを具体的・論理的に表現できているかを評価します。 （フィードバックの方法）次回授業時に解説を行います。 ■レポート2回（70%）：適用ルーブリック C1・D1・I1・I2・I3 （評価の観点）講義内容の定着度のほか、記述内容の具体性・論理性を評価します。 （フィードバックの方法）提出後の授業で論点等を解説します。	
履修条件	ありません。	
履修上の注意点	事前配布資料等をしっかりと読んで授業に臨んでください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス、犯罪情勢と国民の意識 ②授業概要 ・我が国の犯罪の動向と特徴について説明できるようになる。（D1・I2） ・授業の進め方と評価方法について説明するほか、講義全体の導入として、我が国の客観的治安指標（犯罪統計）といわゆる体感治安の状況を概観します。 ③予習（120分）警察白書（令和3年版）73～76頁を読み、現在の犯罪情勢を自分なりに（73頁冒頭の概説部分の記述にこだわらず）評価してみる。 ④復習（120分）授業内容を踏まえて、予習時の自分の情勢評価を再考する。
	2	①授業テーマ 薬物乱用1 ②授業概要 ・薬物乱用の現状と規制の必要性について説明できるようになる。（C1・D1・I1・I2） ・担当教員の実務経験を踏まえて、薬物乱用の危険性、法規制の概要、乱用の実態（暴力団の関与を含む。）について解説し、問題点及び今後の課題を考察します。 ③予習（120分）事前配布資料を読み、大麻合法化論の是非について考えてみる。 ④復習（120分）薬物乱用がもたらす身体的・社会的影響について整理する。
	3	①授業テーマ 薬物乱用2 ②授業概要 ・薬物乱用問題への基本的な対処について説明できるようになる。（C1・D1・I1・I2） ・担当教員の実務経験を踏まえて、薬物取締りの現状と課題、乱用防止の取組について解説し、問題点及び今後の課題を考察します。 ③予習（120分）事前配布資料及び警察白書147-149頁を読み、自分の周辺における薬物乱用防止の取組にどのようなものがあるか考えてリストアップする。 ④復習（120分）行政機関や各種団体による薬物乱用防止の取組について整理する。
	4	①授業テーマ サイバー犯罪 ②授業概要 ・サイバー犯罪の現状と基本的な対処について説明できるようになる。（C1・D1・I1・I2） ・担当教員の実務経験を踏まえて、サイバー犯罪の現状と対策について解説し、問題点及び今後の課題を考察します。 ③予習（120分）事前配布資料及び警察白書15-36頁を読み、自分の周囲におけるサイバー犯罪のリスクについて考えてみる。 ④復習（120分）学生生活を送る上でのサイバー犯罪のリスクとその回避・低減の方法について整理する。
	5	①授業テーマ ストーカー・DV ②授業概要 ・ストーカー事案等の現状と基本的な対処について説明できるようになる。（C1・D1・I1・I3） ・担当教員の実務経験を踏まえて、ストーカー・DV等の問題の現状と対策について解

	説し、問題点及び今後の課題を考察します。 ③予習（120分）事前配布資料及び警察白書77-81頁を読むほか、過去10年の主要なストーカー事件について調べておく。 ④復習（120分）ストーカー・DV対策のための各種制度・施策について整理する。
6	①授業テーマ 風俗営業法 ②授業概要 ・風俗営業等に起因する社会問題について理論的に説明できるようになる。（C1・D1・I1・I3） ・担当教員の実務経験を踏まえて、風俗行政上の規制を巡る幾つかの論点について解説し、問題点及び今後の課題を考察します。 ③予習（120分）事前配布資料及び警察白書102-103頁を読むとともに、風営法第2条に掲げる各営業の具体的内容をインターネット等で調べて理解しておく。 ④復習（120分）各営業類型の性格とそれに対する規制の在り方を理由と共に整理する。
7	①授業テーマ 性犯罪 ②授業概要 ・性犯罪の現状と基本的な対処について説明できるようになる。（C1・D1・I1） ・担当教員の実務経験を踏まえて、性犯罪（痴漢、盗撮を含む。）の現状と対策について解説し、問題点及び今後の課題を考察します。 ③予習（120分）事前配布資料を読み、性犯罪前科者に対するGPS装着義務の是非について考えてみる。 ④復習（120分）性犯罪の防止と被害者保護のための各種制度・施策について整理する。
8	①授業テーマ 特殊詐欺 ②授業概要 ・特殊詐欺の現状と基本的な対処について説明できるようになる。（C1・D1・I1・I3） ・担当教員の実務経験を踏まえて、架空料金請求詐欺その他の特殊詐欺の現状と対策について解説し、問題点及び今後の課題を考察します。 ③予習（120分）事前配布資料及び警察白書90-91頁を読むとともに、なぜ騙されてしまうのかを考えてみる。 ④復習（120分）特殊詐欺防止のための各種施策・制度について整理する。
9	①授業テーマ 反社会的勢力 ②授業概要 ・反社会的勢力による被害を防止するための基本的な対処の在り方について説明できるようになる。（C1・D1・I1・I3） ・担当教員の実務経験を踏まえて、暴力団、半グレ等の反社会的勢力による違法行為の現状と対策について解説し、問題点及び今後の課題を考察します。 ③予習（120分）事前配布資料及び警察白書139-146頁を読み、最近の暴力団の脅威について自分なりに評価してみる。。 ④復習（120分）反社会的勢力による被害を防止するための基本的な対処の在り方や役割を個人、企業・団体、警察のそれぞれについて整理する。
10	①授業テーマ 消費生活の安全 ②授業概要 ・消費生活の安全を脅かす犯罪の現状と基本的な対処について説明できるようになる。（C1・D1・I1・I3） ・担当教員の実務経験を踏まえて、キャッチセールス、マルチ商法など消費生活の安全を脅かす犯罪（悪質商法、悪徳商法）の現状と対策について解説し、問題点及び今後の課題を考察します。 ③予習（120分）事前配布資料及び警察白書94-95頁を読み、自分や家族・知人がアプローチされたことがないか考えてみる。 ④復習（120分）学生生活を送る上でのこれらの犯罪のリスクとその回避・低減の方法について整理する。
11	①授業テーマ 公共交通の場における安全 ②授業概要 ・公共交通の場における犯罪リスク回避・低減のための基本的な対処について説明できるようになる。（C1・D1・I1） ・担当教員の実務経験を踏まえて、公共交通の場における犯罪の現状と対策について解

	説し、問題点及び今後の課題を考察します。 ③予習（120分）事前配布資料を読むとともに、自分が通学に利用する公共交通の場に応じたような犯罪リスクがあるかを想像し、リスク回避・低減の方法を考えてみる。 ④復習（120分）授業内容を踏まえて、予習時に考えた内容を再考する。
12	①授業テーマ カルト問題 ②授業概要 ・いわゆる「カルト」の危険性とリスク回避のための基本的な対処について説明できるようになる。（C1・D1・I1・I3） ・担当教員の実務経験を踏まえて、カルトの問題について解説し、問題点及び今後の課題を考察します。 ③予習（120分）事前配布資料及び警察白書201頁を読むとともに、オウム真理教による一連の事件について調べ、大学生らがなぜ入信したのかを考えてみる。 ④復習（120分）カルト団体がアプローチしてきた場合を想定し、どのように対応すべきかを考えて整理する。
13	①授業テーマ テロ対策 ②授業概要 ・テロの現状と基本的なテロ対策について説明できるようになる。（C1・D1・I1・I3） ・担当教員の実務経験を踏まえて、国内外のテロ問題の現状と対策について解説し、問題点及び今後の課題を考察します。 ③予習（120分）事前配布資料及び警察白書189-196頁を読むとともに、2000年以降における国内外の邦人被害のテロ事件の発生状況を調べておく。 ④復習（120分）「テロを許さない社会づくり」のための官民それぞれの役割について整理する。
14	①授業テーマ 総合的犯罪対策 ②授業概要 ・受講者は、政府の犯罪対策について全体的な観点から説明することができるようになる。（C1・D1・I1） ・「「世界一安全な日本」創造戦略」に基づく政府の総合的犯罪対策について解説します。 ③予習（120分）「「世界一安全な日本」創造戦略」1～9頁及び警察白書124-126頁を読み、第13回までの授業との関連を自分なりに考察しておく。 ④復習（120分）同戦略全文を読んで「総合的犯罪対策」への理解を深める。
15	①授業テーマ まとめ ②授業概要 講義全体のまとめと補足を行います。（C1・D1・I1・I2・I3） ③予習（120分）第14回までの講義内容（配布資料、ノート）を見直しておく。 ④復習（120分）講義全体を踏まえて、犯罪リスク回避・低減の観点から自らの日常の行動を点検・省察する。
関連科目	「社会安全政策論RMGT3521」（2年次前学期配当）、「警察政策RMGT3530」（3年次前学期配当）
教科書	警察庁『令和3年版警察白書』（2021） https://www.npa.go.jp/hakusyo/r03/index.html
参考書・参考URL	・金山泰介『新版警察行政概論』立花書房（2019） ・警察政策学会編『社会安全政策論』立花書房（2018） ・「「世界一安全な日本」創造戦略」（2013閣議決定） https://www.kantei.go.jp/jp/singi/hanzai/kettei/131210/kakugi.pdf ・犯罪対策閣僚会議ウェブサイト https://www.kantei.go.jp/jp/singi/hanzai/index.html
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜1限。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントメントを取ることでより研究室で対応します。
研究比率	

